【気高地域振興会議】

委　員　提　案　議　題

　各委員から提案のあった提案議題を、鳥取市新市域振興ビジョンの目標別にとりまとめを行いました。

|  |  |
| --- | --- |
| 新市域振興ビジョンの目標 | 委員提案議題 |
| １　交流のまちづくり  P２～Ｐ３ | 1. 小さな拠点づくり支援事業の拡大のための方策 2. キャッチフレーズ「気ぶん　さい高　ときめきの町」の生かし方の工夫 3. 子どもたちが喜ぶ「ゆるキャラ」を開発。（イベントの充実） 4. 地域の活性化 5. 交流のまちづくり   地域産業との交流（・魚と交流、・牛と交流、・農家と交流・温泉と交流）   1. 気高ジオパークサイクリング大会 2. ジオパークを活用したイベントの新規開催「気高サイクルツーリズム」 3. 気高町のホームページ 4. 人流増加から定住促進への取り組みについて |
| ２　新しい風のまちづくり  　　　Ｐ４～４ | 1. 浜村温泉館再生のためのクラウドファンディング   ②　気高町のお金を生み出すしくみ |
| ３　地域産業のまちづくり  　　　Ｐ４～Ｐ４ | 1. 気高町特産品開発チームの結成 2. 地域産業の振興支援について |
| ４　教育・文化のまちづくり  　　　Ｐ５～Ｐ７ | 1. 統合新設校の周辺整備案の作成 2. 学校統合について（教育関係）（旧校舎利活用） 3. 担い手育成について 4. 子育て・教育の充実について |
| ５　安心・安全のまちづくり  　　　Ｐ８～Ｐ９ | 1. 交通関係（公共交通） 2. 防災関係 3. まちづくり関係（自治会加入率の低下） 4. 各地区の問題点 5. 住環境の整備について 6. 選挙投票率の向上 |

１　交流のまちづくり

| **テーマ・議題** | **提案の内容・主旨** |
| --- | --- |
| ①小さな拠点づくり支援事業の拡大のための方策  ②キャッチフレーズ  「気ぶん　さい高　ときめきの町」の生かし方の工夫  ③子どもたちが喜ぶ「ゆるキャラ」を開発。  （イベントの充実）  ④地域の活性化  ⑤交流のまちづくり  地域産業との交流  ・魚と交流  ・牛と交流  ・農家と交流  ・温泉と交流   1. 気高ジオパークサイクリング大会 2. ジオパークを活用したイベントの新規開催「気高サイクルツーリズム」   ⑧気高町のホームページ  ⑨人流増加から定住促進への取り組みについて | ・瑞穂、宝木地区も指定を受けるよう支援して、すでに事業を受けている浜村、逢坂とのネットワークづくりを進めていき、「小さな拠点づくり」事業の全地区推進で活性化する気高町をめざす。  ・とても良いキャッチフレーズなので、もっとアピールできるよう横断幕やのぼり旗などの設置やマスコットキャラクターの創作などで気高町のイメージ向上に役立てていく。  【例】ときめき君　の君  ・「いなばくん」「きらりちゃん」「ヤサホーくん」「かわいやちゃん」（例）など、子どもたちが喜ぶゆるキャラがつくれると、イベントもさらに盛り上がるので、公募して、ゆるキャラ作りを進めていきたい。道の駅「西いなば気楽里」の盛り上げにも役立てていく。  ・コロナも5類になったので、近年中止になっていたイベントを充実できたらと思います。  ・住み、暮らす場所としての魅力づくり  浜村鹿野温泉ⅠＣが出来、東西どちらの向きにも交通の便がかなり良くなりました。地価も旧市内ほどではなく若い  世代が家を建てたりする場所としてとてもいい場所だと思いますが、町内でも新町に集中してしまい、町全体の活性化につながっていない部分も。学校統合と関連する部分もありますが、新校舎周辺の地区のみが賑やかになるだけでなく、小学校がなくなった地区も活力がなくならないようにアイデアを実現できるような仕組みづくり。  〇都市部の子どもや外国人観光客を主なターゲットにして、季節や時期を限定して行う。  ※これらの、情報発信・受信はＳＮＳ等を中心に行い、こまめな更新が重要と考える。  ・「魚を捌く体験や魚の料理づくり・食事」を体験できる場づくり。  ・瑞穂　逢坂等の酪農家と連携した「乳搾り、えさやり等の畜産体験や搾った牛乳を味わえる体験」  ※可能ならば、肉を食べる場があると集客力アップ。  ・田植え・稲刈り体験・生姜作り等の体験（食べる場も必要）  ・浜村温泉、宝喜温泉等と連携して「温泉三昧体験」。  浜村温泉にある「足湯体験」、ゆうゆう健康館けたかの「温泉プール体験」、両温泉の「たっぷり温泉体験」。  旅館との連携で宿泊プランがあれば。  外国の方はお茶やお寿司等の日本文化の体験、貝殻節の生　唄鑑賞。  ※ペットの温泉体験もあれば。  ・気高一周コースを設定し、地域のもてなし等の交流と温泉等を絡めて気高を楽しんでもらう。  ・「鳥取うみなみロード」を気高全域に拡大してルート設定し、走行環境を整えて、子どもも大人もサイクリングを楽しめる気高町にしていく。いずれ、「気高町一周サイクルツーリズム」が開催できるように環境整備をしていく。  ・気高を活性化させるには、まずホームページを新しく作成する事を提案します。町のホームページは、町の顔でもあるので、上手に魅力をアピールして、まだ訪れた事のない人や、これから移住を考えている人の目に留まる効果が期待できると考えます。流行のＷeｂホームページを参考に新しいものを考えてみませんか？  ・町ごとの問題として捉え、その中で解決をめざすというスタンスよりも他の地域を含めた中で、互いの利点を活用し合いながら補い合ったり、協力し合ったりする中で相互の発展をめざしていくという発想はどうか。 |

２　新しい風のまちづくり

|  |  |
| --- | --- |
| **テーマ・議題** | **提案の内容・主旨** |
| ①浜村温泉館再生のためのクラウドファンディング  ②気高町のお金を生み出すしくみ | ・温泉館の再生は、悲願であるが困難すぎて手がつかない状  態のようなので、クラウドファンディングで進めていけないか。クラウドファンディングを学習することから始めて検討を進める。  ・温泉館の活用、さくら工房が出られた後の活用はどうなるのか？  ・○○したいのに、お金が無い問題への解決策を皆で考えてみませんか？  地域全体で、地域の人の意識を変えて、皆で協力する取り組み。  【例】コンテナを設置して、資源回収でお金を生み出す。集めた収益は、気高町の活性化することに使います。 |

３　地域産業のまちづくり

|  |  |
| --- | --- |
| **テーマ・議題** | **提案の内容・主旨** |
| ①気高町特産品開発チームの結成  ②地域産業の振興支援について | ・気高町の特産品である生姜、白ねぎ、はま茶を活用した加工  品の開発に取り組むチームを結成・支援する体制づくりを検討する。  ・「安心して住み続けられる魅力ある町づくりを」という考え方を念頭にテーマをあげたが、この協議会での話し合いをとおして、現状の理解にとどまることなく、改善への一手となり、前向きな実践へとつながる一歩を踏み出したい。 |

４　教育・文化のまちづくり

|  |  |
| --- | --- |
| **テーマ・議題** | **提案の内容・主旨** |
| ①統合新設校の周辺整備案の作成  ②学校統合について  （教育関係）（旧校舎利活用）  ③担い手育成について  ④子育て・教育の充実について | ・「子育て世代が住みたい気高町」にするために、統合新設校のあり方や建設予定地周辺の整備案を検討する。  ・放課後児童クラブ、スポーツ施設、文化活動施設、子ども食堂、サポートルーム　等  ・予定地も決まり、今後の進捗が気になりますが、建設地が決まらなくても事前に検討できることは進めていけば、よりよいまちづくりにつながるのではないでしょうか？  ・通学方法等  安全安心な通学方法。地域の衰退を防ぐため、子どもだけでなく、高齢者をはじめとした地域の住民も利用できるような交通手段の検討。（教育委員会だけではなく他の部署との連携等）  ・旧校舎の利活用  校舎、体育館、校庭等の活用がよりスムーズにできるような基準の明確化、維持費（光熱費、修繕費等）の考え方等（事前に分かれば準備ができる）  ・どんな学校にしたいのか、地域で何ができるのかを考える  こと。新しい学校に対して、地域が一体となってできる旗印を考える。  ・気高地域の学校統合に合わせてまちづくり、コミュニティー機能の充実を図るためには、どの様な施設が必要なのか地域振興会議で２年かけて話し合い、市に対する要望書を提出できるように検討する。  （４小学校の統合について）  ・市教委から４つの小学校を統合し、場所は浜村駅南側との  報道があった。具体的な位置や広さは未定である。今後、ボーリング調査等を踏まえ地権者への交渉や買収作業とのことである。今後、６月補正に調査費等を計上していくのだろうが、具体的なスケジュールを明らかにする必要がある。  ・町関係者の要望書にもあるように、単なる小学校の建設だけではなくまちづくりの観点を含めた多様な視点で議論することが必要。○○会議の設立も必要である。住民が主体的  に新しい学校をどのようなものにしていくのかが必要。  ①小学校のグランドデザイン　基本計画  ・広さ（今後の義務教育学校まで考えるのか）  ・複合施設、共用施設（防災拠点、公民館等の施設）  ・モデルとなるような学校づくり（ソフト、ハード）、  ＳＤＧｓを目指した学校。  ②道路整備、通学路の安全対策  ・新設、即設道路の改修等  ③スクールバス、通学の負担軽減  ④住宅や商業施設等  ⑤全体のスケジュール  （逢坂小学校、瑞穂小学校）  ・逢坂の児童数が減り続けている現状を踏まえ、児童のためにはこのままでいいのか議論が必要で地域の判断だけで良いのか疑問。４校統合まで５年以上の年数が必要で浜小と一端統合することが必要で喫緊の案件である。  ・瑞穂も同様で、宝木小との合併議論が必要。  ・地域の要望や思いの議論だけでは、気高町を背負う良い人材を育成できない。小規模学校のメリットもあるが、集団生活、運動、競争等が困難である。子どもたちはある面、大人の被害者でもある。高校の進学に影響する。  （将来の小学校、中学校のあり方について）  ・将来、義務教育学校を要望していることもあり、駅裏候補地  の範囲等含め議論が必要。  ・市教委も２０年後を見据えた視点とあり、少子化の影響で児童数が少なくなることもあることから、鹿野町及び青谷  町の小中学校のあり方の議論が必要。  （４小学校の跡地活用について）  ・４校統合と並行して議論が必要。利活用並びに撤去等含め、地域や行政と議論する場が必要。  ・個々の地区で検討することが原則であり、色々な意見があると思う。アイデアを出し合い○○ならうちの地区でも取組みができるのではないか、情報、アイデアを出し合って検討。　【例】ミニディ、放課後児童クラブ  　・気高町内の若者たちに、地域の事について考えてもらうきっかけ作りについて考えてみませんか？  　【例】気高中学校の部活動の中に「地域部（仮名）」の様な、地域の担い手育成を目的とした地域の人たちによる、畑作り指導や野外活動をする新しい部活を作ってみるとか。  これからの若者たちに、気高に暮らして楽しいと思わせる取り組みを、ぜひお願いします。  ★先人の知恵を若者へ  ・どのようなテーマ・議題を掲げても、単独で解決策を見つけることは困難であり、横断的かつ複合的な要因を含んでいると考えられる。 |

５　安心・安全のまちづくり

|  |  |
| --- | --- |
| **テーマ・議題** | **提案の内容・主旨** |
| ①交通関係  ②防災関係  ③まちづくり関係  ④各地区の問題点  ⑤住環境の整備について  ⑥選挙投票率の向上 | ・今後の少子高齢化も踏まえた町の公共交通のあり方を議論することが必要。  　　※気高鹿野交通会議でも議論しているが、住民が自分の  ことと思うことが必要。  　【例】循環バス、日の丸バス、定額制乗り合いタクシー、  共助交通　等  ・安心安全なまちづくりの観点から、ソフト、ハード面での  議論が必要である。また、小学校統合で防災拠点の整備と要  望していることから、地区、町全体の防災に対する姿勢、体  制強化が必要。  （防災対策について）  ・各集落及び各地区の防災体制の強化  ・行政、各地区の自主防災協議会等の連携強化  ・気高支所の防災体制の強化  （危機箇所等の施設整備について）  ・町内の危険箇所、河川断面が小さい氾濫区間等の調査、整  備が必要。  （自治会加入率の低下について）  ・このまま加入率が低下した場合の課題整理、加入率向上  　を目指すにはどうしたらよいのか議論が必要。  ・自治会への加入が義務でない現状からいくら加入促進して  　限界がある。また、加入しなくても行政の支援から生活できること。  ・防犯灯電気代、ゴミ管理、防災等含め、活動しているのは自治会で矛盾がある。  （空き家対策について）  ・行政も検討しているが、撤去、活用含め議論が必要。  ・倒壊、景観、防犯等で困っている自治会が増えており、行政が追いついていない。  （まちづくりの整備）  ・まちづくりの観点で、道路、産業、交通、教育、文化、防災等でグランドデザインの議論が必要。どこに、道路を整備し工場や住宅団地等を整備するといった内容。  ・有権者、関係者での個別会議、議論も必要。小学校統合と関連あり。  　1　道路整備  　2　住宅団地、工業団地  　3　ＳＤＧｓ促進  4　人材育成  　5　産業、雇用  　6　文化教育  7　人口減少対策  ・委員は各地区から選出されているので、各地区事の問題点や困り事などあれば、次の会議でのテーマにしてはどうか。  ・これまでの振興会議の中で積み上げられてきた町内の実態把握・課題の抽出・課題解決へのアプローチがどのような実績を生み、現在に至っているのかという経緯を全員が共通理解した上でなければ、協議をするにしても話がかみ合わないのではないかという懸念はないのか。  ・近年、地方選挙の投票率が低迷している。先の選挙でも本当に地域の実情が理解され、立候補されたのか不安である。  気高町（鳥取市）も投票率を上げるためにも色々なアイデアを出し合って住民がもっと選挙に関心を持つよう取組みができないか。 |